

先生のための鑑賞会・座談会

美術の楽しさ、おもしろさとは？

— みんなで考える図工・美術教育 —

入退場自由
申込不要
無料

本展出品作家の本山ゆかりさんは、中学校時代に美術の授業や美術部での活動を通して、絵を描くことに熱中するようになり、現在は現代美術作家として活動しています。

今回は、本山さんの恩師である土方和美さん(元岩成台中学校教員・美術部顧問)をお招きし、当財団エデュケーションアドバイザーの林幸秀さん(元岩成台西小学校校長)とともに、当時の思い出を振り返りながら、美術教育や指導方法、部活動に関する様々な話題をざくばらんにお話しいただきます。

図工・美術の先生方はもちろん、他教科がご専門の先生や春日井市外の学校等にお勤めの先生もお気軽にご参加いただけます。指導のアイデアを共有する機会として、先生方の情報交換の場として、ぜひお役立ててください。

2021年

展覧会
(自由鑑賞) 10:00-19:00

※通常17:00閉室ですが、当日は先生方向けに17:00以降も開放します。本山さんの作品をぜひご覧ください。作品鑑賞だけでもお気軽にどうぞ！

5月14日(金) 座談会 18:00-19:00

▶ 文化フォーラム春日井・ギャラリー

日頃の実践経験を共有し、悩みを相談しませんか？

(例) 児童、生徒の作品をどのように評価したらよいか、相談したい。

美術教員ではないが、美術部の顧問になった。指導方法を知りたい。

図工・美術に苦手意識を持つ子どもには、どのように指導したらよいか？

登壇者 (敬称略)



本山ゆかり (もとやま・ゆかり)

1992年生まれ、春日井市出身。愛知県立芸術大学美術学部油画専攻を経て、2017年京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。現在は京都を拠点に美術作家として活動する傍ら、名古屋芸術大学・京都市立芸術大学で非常勤講師を務める。近年の展覧会に、「その出入口(穴や崖)」(Yutaka Kikutake Gallery/2019)、「2020年度第3期コレクション展」(愛知県美術館/2020)などがある。



土方 和美 (ひじかた・かずみ)

名古屋市出身、同市在住。美術の教員として、春日井市内の中学校に42年間勤務し、2021年3月に退職。描いた分だけ伸びるという理念の下、好きなものを自由に描く小スケッチブックを16年前に導入。また、「アートの甲子園」と呼ばれる全国大会「全国中学校美術部作品展」で、指導する美術部を開催初年度から14年連続入賞に導いた。卓越した美術教育の指導が認められ、平成28年度中日教育賞を受賞している。



林 幸秀 (はやし・ゆきひで)

広島県出身、春日井市在住。美術の教員として、春日井市内の小中学校に37年間勤務。岩成台西小学校の校長だった2019年3月に定年退職。同4月から、かすがい市民文化財団のエデュケーションアドバイザーに就任。教育普及事業「みんなの美術部」での指導・助言のほか、学習指導要領に沿った図工・美術の出前授業開発に取り組んでいる。また、現役時代から、美術作家としての活動も続けている。